

# 酒々井町郷土研究会々報

第48号

昭和63年4月1日  
発行  
酒々井町郷土研究会  
編集部

## 郷土研活動の

### 映画撮影について

会田秀雄

昨年十一月初旬に安齋、県の教育庁企画室公報係の府川司氏より電話がありました。郷土の理解と支那の保存に励んでいる人達の活動を紹介するために広報映画を作りたい。三四体の候補の中から酒々井郷土研究会の活動が本年活動に行なわれていたこと知り、検討した結果、是非にと思っております。ことごとく、その後、十二月二十四日に府川氏と再度打ち合わせを行い、次の様子を予定が出来てまいりました。

テーマは「ふるさと」を知ろうという。郷土研究会として、本年四月に演出家の人と詳しい打ち合わせを行います。その後七月に撮影を行い、九月五日と十一日の両日に千葉テレビで放映される運びになりました。郷土研発足当時の様子や目的、又、現在までの活動と日常の学習会や研究活動

等について画面で皆さんに語っていただく予定です。役員はじめ会員の方々の協力を得て悔いのないものにしてほしいと思います。



千葉市の中心街の花壇にはけしめ花が見事に植えられています。色あややかに咲き競い道行く人の目を楽ませることでしよう

## 郷土研の

これから

田村直子

梅の里を理想とする酒々井町も来年は、町制施行百年を迎えることになりました。又郷土研究会も発足十二年となり、その歩みを大切に、より深く探究を重ねていかねばなりません。

りません。

水で由緒の多い酒々井町ですが、

まさに青木喜作さん達が東西南北四つの井戸を探索され、南、西の二ヶ所では僅かにしたたる水をたしかめたようです。その昔、徳川家康公が東金に遊獵の途中、清光寺にて供された煎茶も近くの井戸の水でたてたと

いうことで「おかかえの井戸」と呼ばれていました。今は造成された雑草の繁った場所に変わっています。さうして清光寺の境内には、家康公の父君広忠公の歯骨墓があります。その墓の側には子孫繁栄を祈願して植えられたという、当時からはすでに何代目かの厚朴(ほお)の木がくすれかけた墓を見守るようになっています。数多い酒々井町の古い由緒を秘めた寺や神社を探索することも楽しい事があります。伽藍、仏像、記念碑、城跡、わが酒々井町に残る歴史のいとなみを探索する機会を数多くもちたいと思っております。

### 清光寺

鳥沢清光寺は土佐佐清光寺作二〇六にある。浄土宗智恵院に属し、本尊は阿彌陀如来である。徳川家康の父、広忠の公骨墓(一説には廣骨墓)のあるため、徳川家より御朱印五〇石を与えられたお寺として知られている。

### 由緒

清光寺の開山は、室町時代の末期の弘治二年(一五五六)月峰上人と伝えられている。二世となった隆登律師和尚は、三河国大樹寺九世鐘磬の弟子であったが、この時に徳川家康の父、広忠の知遇を得ており、広忠が死去、火葬の際に公骨を拝請護持して諸國を遍歴の末に清光寺の住職となり、分骨を境内に葬りて靈廟とした。

天正十九年(一五九二)十月、家康が東金に鷹狩りに来た際に、無算和尚は家康を訪れ、成烈院(広忠の諡号)の公骨を安置してあることを伝え、家康は翌日子足を變更して清光寺に来て、靈廟を参拝して子孫長久のために厚朴の木を植え、供養料として高五〇石の田畑を寄進、御朱印寺としたと伝えられている。

(「酒々井町史」通史論下巻四五一より)

若山牧水のこと

押尾 克己

何時か若山牧水夫人の喜志子さんがこちらに見えられた時「千葉県には鈴木菱花さんと言う人が居たんですよ」と聞かれたが、僕にはさっぱり分からず返事に困った。それ以来気にかけていたところ、印西町の短歌の皆様から指導に來まってくれと頼まれ伺った折多分この辺りの人かと、前記のことを話したら、公民館の佐藤さんが昔の短歌関係のことを詳しく調べて、印西町の『史料集』其の二にのせてあると聞き一部を戴いて來た。その史料集をよくよくみると、

大正十四年八月二十一日、若山牧水夫妻は同地の鈴木菱花の墓参に訪れ、ついでに手賀沼吟行を催し短歌十六首を詠み、八月二十一日は同地の銚子屋に泊まり、翌二十一日は腰川一庵宅に泊まっている。それから二十三日は同行の人達と佐倉に至り、米新旅館に泊まり揮毫会をやり牧水のことだから飲んで。そして翌二十四日は成田不動尊に参詣して車が多古に行き、細野春翠の常宿萬屋に泊まり、二十八日まで滞在して揮毫会や同地の人達と歌会をやったことが判明し、其の折の奇書や写真も出てきて明白となって来た。だが、古いことなので写真の人達が誰か誰かよく分から

ない。聞きたくとも皆あの世に行つて今では聞くこともできない。酒々井からは押尾孝が写っている。先住佐倉の短歌会にこの写真を持って行き、百人ほどの出席者



(大正14年8月24日、印旛支庁)

に回覧して聞いたら知る人はなまなかった。六十年の歳月は今更ながら遙かだ。その後、多古町でミニ美術館をやっている前記萬屋の当主の市原正夫さんをたずねて、色々話を聞く機会があった。結構昔のものを收拾してあり拝見して有り難かった。氏は前の県立美術館長であり、大の牧水ファンで邸内に牧水歌碑を建て参観者も全国から沢山きていた。僕の友人も

何人が急かあった。軸を見せて戴いたり期詠のタイプを聞いたりして長居をしてしまった。あの頃の人達も存命をしていれば

既に八十の半ば、時の流れの速さに今更ながら感慨深いものがある。分かうなくなるのが当たり前かもしれぬ。

わが庭の竹の林のあざけれと

ふる雨みれば春は来けり

牧水

ちよつとお知らせ

本佐倉城跡他三件が選出  
——房総の魅力五〇〇選——

昨年六月から八月にかけて行われた「房総の魅力五〇〇選」の投票結果が発表されました。

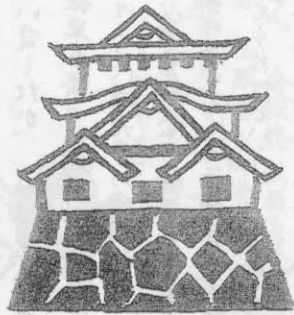
千葉県下の自然・歴史・施設・民俗・特産の五分野それぞれ一〇〇件ずつ

つが選ばれましたが、酒々井町からは次の三件が入りましたのでお知らせします。

歴史——本佐倉城跡  
施設——酒々井ちびっ子天国  
民俗——墨の獅子舞

このうち歴史部門の本佐倉城跡は、千葉県の一〇〇。余年間に亘る本城であり、酒々井町のみならず千葉県の根源ともなる史跡として永く残されねばならないということ、郷土研の会員のみならずにお知り合いの方々への呼びかけをお願いしました。思いがけないほど多数の賛同をいただいて、千葉県の魅力を代表するものとして踏れ認められました。御協力ありがとうございました。

いたるところ開発の波が押し寄せ、現在の地元の方々が永く守つてこられた本佐倉城跡を、次の世代にまで残せるようわが郷土研も微力ではあっても努力していきたいと思ひます。



昭和62年度事業報告書

Table with 4 columns: 事業名 (Activity Name), 説明 (Description), 参加人数 (Participant Count), and 備考 (Remarks). Rows include activities like '町内史跡めぐり', '史跡見学会', '石仏調査', '野草の会', '郷土史講座', etc.

昭和六十三年郷土研究会定時総会が一月二十四日(日)午後一時より中央公民館講堂に於いて開かれました。昭和六十二年度の事業報告、決算報告、昭和六十三年度の事業計画案及び事業予算案が承認され、一部運営委員の亦変更がありました。

総会報告

昭和63年度事業計画

Table with 3 columns: 事業名 (Activity Name), 説明 (Description), and 回数 (Frequency). Rows list planned activities for the 63rd year, such as '町内史跡めぐり', '県内史跡見学会', '史談会', etc.

郷土研究会 63年度役員名簿

S.63.3.31現在

Table listing members and officers of the association. Columns include 役名 (Position), 氏名 (Name), 住所 (Address), and TEL (Phone Number). Officers listed include 顧問 (Advisors), 会長 (President), 副会長 (Vice President), 監査 (Auditors), and 運営委員 (Executive Committee).

郷土研63年度会費について (Regarding the 63rd year association fee). Text explains the annual fee of 1,000 yen and the payment schedule. Includes a drawing of a character and a date stamp.

七草がゆのお台所

市川 英子

「今年もお願いね」と言われて、朝八時三十分中央公民館の調理室に行く。落のとう百個とさつま芋百切の天ぷら作が、私を入れて頂いたグループの仕事でした。先輩方から「頼むわね」「頑張りな」と言われて、その気になつたものの、良くよく聞いてみると、天ぷらは揚げ具合がむづかしいからなうてかないとか、肉心ギョツとして他のグループにもぐり込めたらと思ひ、チヂミの様子を探つてはみたが、皆の結束は堅く、今さら私がどうも意志薄弱者の入りこめる余地はないようです。エエ、こうなつたら腹をすえまこの仕事にかかると。勢いよく衣をつけ、お芋を入れたら、シマツタ、先輩の真ッ白なエプロンに油が飛び散つたのです。「御免なさい」すぐお詫言いました。この方がやさしい方で、「今の洗滌は、いい物が出てくるから、きれいになるから大丈夫よ」と言つた下さつたのです。ああやさしい方ぞよかつた。私みたいな人間だったら、冷たい言葉の一つや二つ言つたかも知れないのに……失敗した時は、本人も悪かつたと思つているのだから、追い打ちを掛けるようなイヤミは言わないものだと思つて勉強しました。

天ぷらの揚げ具合を勉強しただけでなく、人生の勉強もこの共同作業でしました。

そして二日後、この時に、もう一つ得たものがあつた事に気が付きました。体重計が15kgものびたのです。油煙をたふりすつた結果でしょうか。私は太つたらなかなかなないのです。神様助けて!!

ふれあい

たゆまないながらも春の息吹きを足元に感じる昨今でございます。

先日は七草粥の会に寄せて



頂きありがとうございます。実行委員の方々の心のこもつた手料理に参加の皆様も一緒に感激されていきます。私も移り住み始めて地元の人達と会食の場に接したことは、土地柄を知り、風土が育てた人柄を知る上にも本当に良い機会でした。ふれ合う人は皆あなただ、やさしい心の人々だといふことが分かりました。此の酒々井の町に老根なからも細々と根付きたいと思ひます。心に浮かんだひと言を記しました。野食を知る郷土愛 友の滋味 亀井 香之乃

シルクロードに行く

園部 善一

郷土研究会に加入してまじまじにまじまじに行事に参加すること少くなく、文を書くとはおかまじいのであつたが、何んでも良いと言われ、ここ三年間毎年シルクロードを尋ねて思ひ出すままに書くことにした。

みんなで一休みのように、泉をくんでお仲間によまばなしがうまやまどうぞあなたもお仲間

シルクロード入口の西安から蘭州を経て敦煌の千仏洞を見学し、新疆ウイグル自治区のトルファン、ウルムチに到り、タクラマカン砂漠の北側の旧都クチャから西へ行き、ソ連国境に近いカシガルに到り、砂漠の南でゴロン山脈に近いボルクタンまで行つた。主に佛像を見ながら敦煌までの仏様の顔は日本で見慣れたものと似ていたが、敦煌より西へ行くと釈迦如来も大日如来も毛唐じみた顔になつてゐるのに驚いた。もっともお釈迦様は印度のお生まれなので、その方が正しいのかなあと思つた。トルファンからウルムチへ行くバスは砂漠の周辺を通る。国道は舗装してあるが、この時はたまに天山山脈の雪解け水が流れ出て川となり、浅い所をえらんで渡つたのであるが車輪が没してしまつた。全員バスから降りて男女共裸足になり、大きな石を集めて車輪の下



嘉峪关 (酒泉の西で万里の長城の西端である)

に敷きやると全員でバスを押し渡る事ができた。また同じことがあつたかと思ひ、その時のために大きな石はバスに積み込んでいたが、やはりもう一回あつて石を積んでいてよかつたと言つた。ウイグル族はトルコ系の血が入り彫りが深く、女性はネックチーフを頭にしているのが漢民族とすぐ区別できる。クチャへ行つた折、夕方、街のメインストリートでも撮つてみたいと外出したが、ふと二十メートル位後ろにいても女性が歩いてゐるのに気がつき、自分がつけられてゐるなと感、面倒にならぬようにカメラに手を触れないようにして帰つた。その女はホテルの入口までついてきた。やはり共産圏だなあと思感した。

〈名勝探訪〉

佐倉街道を歩く (三) (五)

青木 朝次

いま名勝探訪で佐倉街道を歩いている。徳川時代は佐倉への道は奥州街道の子住の橋と浦安の渡しだけだった。昭和の今、日本橋から千住まで先人の歩いた道を歩いて見る。去年の十一月には駒形堂から浅草寺、そして十二月には日光街道を聖天様で知られる待乳山本竜院と、長昌寺から石浜神社まで歩いた。徳川時代に隅田川にかけられた最初の橋が千住の橋で、その後いくつかの橋があったのだが、今は数多くある。橋の中央で交差する、桜橋、言問橋、吾妻橋、駒形橋、厩橋、蔵前橋、両国橋、新大橋、清州橋、隅田川大橋、永代橋、佃大橋と十三橋あり、高速度、鉄道等合わせると二十八橋もある。隅田川の遊覧船でこれらの橋を下から眺めるのも一興である。

駒形堂は、今から千余年前浅草の観音様が源師の綱に掛かり引き上げられた場所。慈覚大師作と伝えられる馬頭観音を本尊として祀った土蔵造りの小さい堂で、此処は金むくの観音様の上座地なので、上下十町余り殺生禁断の地と定められ戒殺碑が建てられている。

伝法院は正しくは伝法心院で一般に開放されていないが許可を得て庭内を観賞する。此処は浅草寺の総本坊で庭園に入ると正徳の鐘・奥山の古墳から出土した石棺・巨大な石灯篭等あり、小堀遠州作の池泉回遊式庭園を一周する。池畔に茶室、天祐庵や供養塔等あり、六区の賑わいとは対称的に静寂そのものである。



伝法院庭園

長昌寺は深栄山長昌寺といい、浅草寺の住職が日常上人との門合に敗れ、身延山に於いて日蓮上人に釈尊の教えを聞き、日蓮宗に改宗、其の時浅草寺から一寸八分の金むくの本尊を持ち出し、此の長昌寺を開く。故にそれ以来、浅草寺の本尊は一寸八分の金むくでなく、今は一尺八寸の本尊観音であるという。

聖天様は隅田川の護岸工事に大分削り取られた古墳の上に建っている。本尊は歡喜天で高亮繁昌夫婦和合に御利益があるといわれ、天井画の意と天女二体の絵が美しい。境内に歌人戸田茂睡の、あわれとはや越えてゆく人も見よまほし山、其の他の歌碑がある。

郷土石研日誌 (1988年)

月日	内容	参加人数
1月16日	運営委員会 (総会準備)	21名
2月20日	野草の会散策 (習志野・船橋)	14名
2月24日	63年度郷土研総会 (於公民館)	114名
2月7日	石仏調査	12名
2月13日	古今佐倉真佐子を讀む会	15名
2月17日	会報編集会議	7名
2月17日	七草粥を食べる会 献立委員会	15名
2月23日	七草粥前日の準備	7名
2月24日	七草粥を食べる会	79名
3月5日	運営委員会	22名
3月6日	名勝探訪 (佐倉街道を歩く.5)	16名
3月12日	古今佐倉真佐子を讀む会	14名
3月13日	石仏調査	5名
3月17日	県外見学会 (府中・国立・国分寺)	48名

まち人



3/12 付の朝日新聞に書かれたものと記載しました。

花嫁は馬に乗って  
市原市高瀬の西瀬神社 平田  
(電話) 211-1111 のおこな  
田園地帯を花嫁が馬に揺られて  
式場に向かう姿が花嫁行列  
列が後続した上座。

魚籠り祭(高瀬)と同日市朝  
生原、会館前木下子(高瀬)。  
見立祭(高瀬)と同日市朝  
見立祭に参った花嫁さん(高瀬)が  
高瀬(高瀬)の「いつか自分も」と  
思っていた。高瀬(高瀬)の完成が  
高瀬(高瀬)の、高瀬(高瀬)の  
おこな(高瀬)の、高瀬(高瀬)の  
高瀬(高瀬)の、高瀬(高瀬)の

馬に乗ったのは初めという  
利子さんは「かわったけれど  
うちの馬が、まだ  
おこな(高瀬)の、高瀬(高瀬)の上  
乗せていた。

同神社には高瀬(高瀬)の、秋  
のけい(高瀬)の、高瀬(高瀬)の  
行祭があったが、高瀬(高瀬)の  
高瀬(高瀬)の、高瀬(高瀬)の  
高瀬(高瀬)の、高瀬(高瀬)の  
高瀬(高瀬)の、高瀬(高瀬)の  
高瀬(高瀬)の、高瀬(高瀬)の  
高瀬(高瀬)の、高瀬(高瀬)の

収入	会費 4500円 × 48 = 216,000
支出	バス使用料 95,000
	有料道路 9,800
	昼食 1500円 × 50 = 75,000
	ドライバー・ガイト・チップ 8,000
	お供物料 1,000
	返金 500円 × 48 = 24,000
	見学下見 4,000
	216,800
差額	-800円 見学会積金より補助

収入	会費 500円 × 79 = 39,500円
支出	材料費 40,961円
差引	-1,461円
	郷土研より補助 1,461円

四月二十二日、二十六日に県内見学会で見学します高瀬神社で、三月十一日に行われた結婚式の様子を、たまたま当日高瀬神社に下見に行かれたり、残念ながら終わったあとも見物で楽しんでました。まことに残念なりました。

郷土研行事業内

63年4月～6月

	4月	5月	6月
史談会	9日(土)午後1時30分 中央公民館 古今佐倉真佐子を読む会	14日(土)午後1時30分 中央公民館 古今佐倉真佐子を読む会	11日(土)午後1時30分 中央公民館 古今佐倉真佐子を読む会
石仏民俗調査	10日(日) (雨天中止) 午前9時 中央公民館集合	15日(日) (雨天中止) 午前9時 中央公民館集合	19日(日) (雨天中止) 午前9時 中央公民館集合
野草の会 名勝探訪	山菜を食べる会 20日(水)午前11時 中央公民館 会費 500円 定員 70名 申し込み日 12日(火) 午前10時から 午前12時まで 申し込み場所 中央公民館ロビー	佐倉街道を歩く(6) 17日(火) (雨天中止) 午前8時 京成酒々井駅集合 京成千住大橋駅→一里塚→ 高礼場跡→問屋場→北千住 →京成上野駅→酒々井	5日(日) (教育委員会共済) 町内史跡めぐりと合流 (雨天中止) 代替日 12日(日)
文化財愛護	4月17日(日) 午前9:00 現地集合 (雨天中止) 午後1:30 現地集合 代替日 4月24日(日)に実施します。	—— 上岩橋貝層.カンカン口横穴古墳(草刈り清掃) —— 伊篠松並木(草刈り清掃)	鎌とお持ちのうえご参加下さい。お待ちしております。
町内史跡めぐり (教育委員会共催)	6月5日(日) 町内史跡めぐりハイキング (雨天中止) 代替日 6月12日(日)	集合時間・場所—午前9時・勝蔵院 (社会福祉協議会事務所) コース 勝蔵院→酒の井の碑→上岩橋貝層→千葉氏の井戸→妙見神社→ 本社本音館(昼食) 解散 双体道祖神←吉祥寺←本佐倉城址←	弁当・水筒は各自持参して下さい
県内見学会	4月22日(金) A班 定員 各班35名 4月26日(火) B班	千葉・市原方面 ● 東光院 — 重俊院 — 山口部落木造地藏 菩薩坐像 — 高滝神社 — 酒々井 昼食は 養老溪谷入口で 景色を楽しみながらいただきます	● 中央公民館集合 AM 8:30 出発 ● 申し込み受付 4月12日(火) AM 10:00 ● 申し込み受付場所 中央公民館・ロビー ● 会費 = 1,800円

見学会案内

県内見学会 4/22(金) 4/26(火)

千葉・市原方面

東光院(千葉市) 別名七仏薬師とも呼ばれ七仏薬師、平山神社、二天門等が有名であり、新本堂に前立不動尊を例には大日如来がある。

重俊院(千葉市)

生実一万石藩主森川家累代の廟所で、二代重俊の子重政によって建てられた。四六基の基石(市文化財)に昔のおもかげをしのぶことが出来る。

山口部落木造地藏菩薩坐像(市原市)

鎌倉時代の木像で像高二七五センチあり、木像の地蔵では従来全国一大きいといわれた和歌山県有田郡湯浅町勝榮寺の重要文化財二・六六米をこえるもので立派な菩薩像である。

高滝神社(市原市)

享保十二年(一七七二)創建、権現造りで、毎年四月と十月の面の目に例祭が行われる。この日は三基の御輿が出るが一名喧嘩祭りの名もある。又春には花嫁祭りが行われる。

名勝探訪 5/1(火) (雨天中止)

佐倉街道を歩く (6)

京成千住大橋駅下車、前回(三月六日)に引続いていよいよ千住宿の中心

を歩きます。

一里塚(日本橋から浅草に次いで二里目)とか高礼場跡など見ながら道が荒川(放水路)に分断された現場、日光街道との分岐点や「ほねつぎ」で知られた名倉医院、また由緒ある神社や寺を見て、荒川の二手で川向うの佐倉道の続き地点などを見学します。帰りは北千住駅から上野へ出て京成電車です。

前回お渡しした資料は忘れずに必ずご持参下さい。

編集後記

寒々と暖かさが一進一退の今日此の頃です。庭のマンサクや梅の間を飛びかううぐいすの声もたん／＼上手になって季節は移っています。

すみれ、たんぽぽ、チネリリップ、沈丁花、れんげさう、桜と次々に美しい花の季節です。自然は本当に素晴らしいと思えます。先日の、七草粥を食べる会りの時に色色お手伝い頂いて有難うございました。特に風の強いほろりの中、落のとうきょうを採集して下さい。又当日の早朝、雨の中野草を探しに行ったり、陰でたんぽぽの方々のお骨折りを頂いた事を紙面を借りて御礼申し上げます。間もなく、山菜を食へる会をいたしますので皆様又どうぞよろしくお願ひ申し上げます。丁子